和歌山県・日置川

ほんまもんの感動体験で心豊かに

海かがやき 山ひびく 清流の里 南紀州

紀伊半島の南部に位置する和歌山県南紀州エリアは、歴史ある温泉地と、農林漁業を生業とする地域です。「ほんまもん体験」は、1次産業が盛んな日置川地域を中心に町内各地で受け入れをしています。山、川、海と三拍子そろった自然の中で地域の多くの人たちと交流し、さまざまな体験を通して豊かな心を育み、人間力の向上をはかりませんか。

ほんまもんの体験にこだわる

農林漁家生活体験（民泊）

民泊協力家庭が150軒。1軒に3、4人として400人の受け入れが可能。民泊家業体験ではなく、ところから始め、新鮮な野菜や魚が「ほんまもん体験」を選べます。各民家ではお客さまではなく、家族の一員としてお迎えし、作業を手伝い、祖父母の世代と交流し、家庭の団らんを味わい「心豊かな田舎の暮らし」を体験します。

食事はなるべく自家食材とし、食材を採りに行別で分宿できます。

ほんまもん体験の品質、安全対策

安全で教育効果の高い受け入れ実施のため、防災対策と衛生対策の指導料理、郷土料理のおいしさに気づきます。共同調責任者を置き、年度初めに保健所、消防署、警察署による講習会を開催し、安全・衛生管理を徹底。またインストラクター研修会、民泊研修会、地区懇談会を随時開催し会員の資質を向上させています。特に災害時の避難地図を作成し、緊急連絡体制を整え安全対策には万全を期しています。

おすすめの体験

農林漁業、伝統工芸、歴史文化、味覚体験などの和歌山らしいプログラムが地域内でそろいます。

一本釣り体験

漁船に乗り太平洋の大海原に出ての一本釣り体験。地元漁師の案内のもと、海を肌で感じ豊かな漁場である黒潮海流での漁を体験し、食育を通じて漁食文化に対する理解を深化させます。

林業間伐体験

紀州木の国で山を守り育てる林業は環境学習であり、間伐体験はノコギリを使って木を倒し、危機管理も学習します。

楽しい交流の場であり、学びの場となります。

民宿での分宿

地域内には10軒の民宿があり、クラス別、男女別で分宿できます。

ほんまもん体験の品質、安全対策

安全で教育効果の高い受け入れ実施のため、防災対策と衛生対策の指導料理、郷土料理のおいしさに気づきます。共同調責任者を置き、年度初めに保健所、消防署、警察署による講習会を開催し、安全・衛生管理を徹底。またインストラクター研修会、民泊研修会、地区懇談会を随時開催し会員の資質を向上させています。特に災害時の避難地図を作成し、緊急連絡体制を整え安全対策には万全を期しています。

おすすめの体験

農林漁業、伝統工芸、歴史文化、味覚体験などの和歌山らしいプログラムが地域内でそろいます。

一本釣り体験

漁船に乗り太平洋の大海原に出ての一本釣り体験。地元漁師の案内のもと、海を肌で感じ豊かな漁場である黒潮海流での漁を体験し、食育を通じて漁食文化に対する理解を深化させます。

林業間伐体験

紀州木の国で山を守り育てる林業は環境学習であり、間伐体験はノコギリを使って木を倒し、危機管理も学習します。

「魚の目が怖い」とキャーキャー言いながらも生物の命をいただいて生きていることに感動したり、また野菜のみじん切りができるようになったと喜んだり、食事作りは「楽しい」「おいしい」「ありがとう」の言葉があふれます。

民泊先では家業体験

ドラゴンボート体験

リバーカヌー体験

県立自然公園、清流日置川をカヌーツーリング。木材を川流していた時代と同じルートを通り、人々の暮らしを守ってきた川文化を学びながら、川面に鮎の跳ねるのを間近に見る野趣あふれる感動体験です。

アクセス

近畿自動車道「紀勢道」が開通し、南紀白浜IC、日置川ICが完成。新大阪からバスで2時30分。JR特急くろしおで新大阪から紀伊日置駅3時間弱（貸切臨時列車利用＝紀伊日置駅発着可能）。

もう一度行きたくなる感動体験「南紀州ほんまもん体験」に地域一丸で取り組み、お越しをお待ちしております。

漁業、魚食文化を理解する一本釣り体験

リバーカヌー体験

梅の収穫体験

民泊先では家業体験

ドラゴンボート体験

一般社団法人 南紀州交流公社
〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居306-1
TEL 0739-53-0055 FAX 0739-53-0055
E-mail: minamikishu@samba.ocn.ne.jp
URL http://www.minamikishu.com

広島湾ベイエリア・江田島

自然豊かな島体験
交流から育む豊かな心の育成

広島県江田島市は、広島港（広島市）から船で約30分の位置にあります。世界遺産の原爆ドームや宮島から近く、特に宮島から船をチャーターすると約40分で入島することができます。また、江田島市は橋で本土と接続していますので、陸路で島に入ることも可能です。所要時間は、広島市内から約1時間30分です。

心とココロの交流

民泊体験と家業体験

江田島市では、現在約100軒の受け入れ家庭があり、最大240人の受け入れが可能です。

江田島市の民泊体験では、生徒をお客さまとしてではなく家族の一員としてお迎えしています。家族みんなで一緒に食事を作り、食事をとり、団らんを共にすることで、家族の大切さや人の温かさに触れることができます。

ワンが二つあります。一つは、世界三大兵学校の一つである海上自衛隊（旧海軍兵学校）です。米国のアナポリス、英国のダートマスとともに海軍の世界三大兵学校としてその名を馳せました。校内では、高校生と同年代の若き特攻隊員たちの遺書などを通して「平和の大切さ」を理解することができます。

被爆地ヒロシマを語る

原爆投下によって放射能被害を受けた大勢の方々の中に、江田島市在住の被爆者の方々がいらっしゃいます。被爆者の体験や思いをクラスごとの小単位で聞き、対話することで平和学習としての教育効果が期待できます。

島ならではの体験

周囲を海に囲まれている「島」ならではの生活に触れることで、私生活で見失ったものを顧みることができ、今後の日本を担う生徒たちの役に立てると考えています。

皆さまに安心して来島していただけるよう、受け入れ家庭を対象とした食品衛生、安全対策などの研修会を行い、万全の態勢でお迎えいたします。ぜひ江田島市にお越しください。

家族の大切さや人の温かさを思い出にお別れ

牡蠣打ち体験

農家での家業体験

瀬戸内海でシーカヤック体験

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　産業・地域振興部　地域振興チーム内）
担当（大巳・久保田）
営業時間　月～金曜日　8：30～17：30（祝日は除く）
〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL 082-222-6641 FAX 082-222-6411
E-mail:hiroshima@hiroshimacci.or.jp
URL http://www.hiroshima-bayarea.net/

日本の農山漁村の深い理解から

広島湾ベイエリア・大崎上島

自然と歴史 人情を感じる感動の島

広島県大崎上島町は、瀬戸内海のほぼ中央に位置する面積約43平方㎞、人口約8千人の離島です。本土とは竹原、安芸津港とフェリーで海上約30分で結ばれ、その他、大崎下島、大三島、今治市との航路もあります。離島ではあるものの、山陽自動車道、広島空港などにより主要都市とは短時間で結ばれています。

瀬戸内海特有の温暖な気候と風光明媚な環境の中、島という限られた土地に生き、造船業、海運業、ミカン、レモン、デコポンなど多種類の柑橘栽培をはじめとする農業、豊富な魚種が水揚げされる水産業など、先人たちのたゆまぬ努力によって発展してきました。

平成23年から体験型修学旅行の受け入れに向けてスタートし、島の特性、文化を生かしたさまざまなプログラムを用意しています。

200年以上の伝統を誇る櫂伝馬体験

農業や食を学ぶ農業体験

島ならではのフェリーでお別れ

1番のおすすめプログラムは、200年以上の伝統を誇る「櫂伝馬体験」です。

昔は陸の伝達手法は早馬でしたが、櫂伝馬は海での情報伝令の役目を担った木造船で、14人の漕ぎ手と太鼓1人、船頭1人の16人が乗り込みます。それぞれのポジションで役割を担い、独特の掛け声と太鼓で調子を合わせ、心を一つに櫂の動きを合わせなければならず、チームワークの育成に比類のないヤック体験、刺網漁や船釣り、波止釣りでとれたばかりの魚の調理体験、タイやヒラメの養殖漁業体験、温暖な気候で育まれたミカン、レモン、デコポン、はるみなどの多種類の柑橘やブルーベリー、イチゴ、トマトなどの栽培過程を学ぶ農業体験、広島商船高等専門学校の練習船「広島丸」を使った海洋環境学習のほか、船舶のかじ取り、エンジンルームの見学、ロープワークを学べる体験乗船など、島をまるごと体験していただけます。

また、民泊登録家庭も160軒を超え、約320人の受け入れが可能です。漁業や農業を生業とする島の人々の生き方や命の源の食生産を担う農山漁村の役割を考え、理解する機会となります。

これら「まるごと島体験」から、自らの生活や家庭、生き方を省みる機会となり、生きる力と豊かな心を育むきっかけになればと考えています。

シーカヤック体験

瀬戸内海で船釣り体験

皆さまに安心して来島いただけるよう安全、衛生、防火など各種講習会を行い、万全の態勢で皆さまをお迎え致しますので、ぜひ大崎上島にお越しください。

【おすすめ体験】

櫂伝馬（体験人数12人）

和船文化を受け継ぐ大崎上島に200年以上も前から伝わる木造船。瀬戸内の水軍が偵察船として使用していたとされる櫂伝馬で心を一つにチームワークの大切さを学びます。

シーカヤック（体験人数100人）

瀬戸内海特有の温暖な気候で育った柑橘類やブルーベリー、トマト、イチゴなどの栽培過程から農業の厳しさを学び、食について学習します。

農作業体験（体験人数100人）

瀬戸内海特有の温暖な気候で育った柑橘類やブルーベリー、トマト、イチゴなどの栽培過程から農業の厳しさを学び、食について学習します。

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　産業・地域振興部　地域振興チーム内）
担当（大巳・久保田）
営業時間　月～金曜日　8：30～17：30（祝日は除く）
〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL 082-222-6641 FAX 082-222-6411
E-mail:hiroshima@hiroshimacci.or.jp
URL http://www.hiroshima-bayarea.net/

広島湾ベイエリア・周防大島

海・山・人、感動体験
自然と笑顔がいっぱいの島

山口県南東部に位置し、瀬戸内海に浮かぶ気候温暖で豊かな自然環境に恵まれた人情あふれる町です。

周囲には五つの有人島、25の無人島があり、島の山頂からは美しい島々と穏やかな瀬戸内海の景色を望むことができます。

また、みかんの島と言われるほど農業生産のほとんどがみかんで占められています。漁業は沿岸漁業が中心で、鯛の一本釣りやイワシ網漁などが盛んです。

民泊体験（ホームステイ）

かつてハワイへ官約移民した歴史があり、ハワイ州カウアイ島と姉妹島縁組を結ぶなど、現在でも交流が続く周防大島は、フラのイベントやアロハビズ、ヤシの木が立ち並ぶ海水浴場、ハワイアンムードが漂う島のが特徴です。

周防大島町には100軒の民泊受け入れ家庭があり、280人まで受け入れることができます。

こと、「半農半漁」の家が多いことで、本当の豊かさを見つけてほしいと思っています。

農漁業の楽しさだけでなく、難しさや生活していく上での苦労などを聞きながら、民泊家庭と同じ目線で一緒に作業することで、本当のやりがいを得ることができます。救助艇やライフジャケットなど、安全管理態勢にも厳重な配慮をしています。

②地引網体験

2グループに分かれ、グループ同士声をかけあいながらタイミングを合わせて地引網を引きます。獲れた魚はみんなでさばいて調理します。息が合わないと魚が逃げてしまいますので、チームワークの養成などにつながります。

③武者絵染色体験

周防大島には大漁旗や武者幟などさまざまな染物を手掛けている職人がいます。先代より受け継いだ技術と伝統を守るため、今でも手染めによる製作にこだわっています。体験では幟ではなく、タペストリーサイズの下地に絵付けをします。

テープカットが舞う港で受け入れ家庭とお別れ

民泊での共同調理

海でカヌーを体験

漁業体験で地引網

武者絵の染色体験

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　産業・地域振興部　地域振興チーム内）
担当（大巳・久保田）
営業時間　月～金曜日　8：30～17：30（祝日は除く）
〒730-8510 広島市中区基町5-44
TEL 082-222-6641 FAX 082-222-6411
E-mail:hiroshima@hiroshimacci.or.jp
URL http://www.hiroshima-bayarea.net/